

「おやすみ前のラブレター」

木梨 光夫

今日も怒っちゃってごめんね。もつとおおらかに受け止めてあげたい。寝顔を見ながら毎日そう思っているけれど、中々うまくいかないね。

わかってる。気持ちや行動の切り替えが苦手なもの、すぐ癇癢を起こしてしまうのも、発達障害ゆえの特性だということは。むしろあなたのほうが、葛藤や不安で苦しいんだろうなということも。

けれどついもう4歳なのにと思ってしまう。まだ4歳なのにな。ほかの子たちと比べても仕方ないのにな。産まれてきたときは、元気ならそれで十分って思っていたのに、どんどん望みが増えて欲張りだよな。

できるようになったことや良いところは、つい見過ごしてしまうんだ。

気に入らないことがあるとすぐに暴れたり泣き喚いていたのに、語彙力がついてきて、舌足らずな言葉で一生懸命反論してくる姿が可愛らしいね。

妹が泣いていたら、サンバみたいな激しきでガラガラを振ってあやしてくれるよね。

なにより毎日しっかりご飯を食べて、ぐっすり眠って、楽しく幼稚園と療育に通えている。毎日全力で過ごしていることが一番だよな。

自分の気持ちを言葉にしたり、その場に合わせた行動をとるのが苦手だから、これから生きづらく感じてしまうことも多いかもしれない。だから私はあなたのことを理解して、一番の味方でいられたらいいなと思っているよ。

明日もその可愛い笑顔で、周りの人たちを明るくしてね。おやすみなさい。